



まなびかんニュース パソコン道場

まなパソコン道場

第11回

パソコン操作のワンポイント！簡単・便利な機能をご紹介します。初心者やレベルアップしたい人も必見です。黒帯級＝上級レベル、茶帯級＝中級レベル、白帯級＝基礎レベル

茶帯級

値によって表示結果を変える（IF関数）

	A	B	C
1	1個あたり	値段(円)	私の判定
2	にんじん	38	
3	たまねぎ	50	
4	じゃがいも	100	
5	もやし	25	
6	きゃべつ	120	

左のようなエクセルで作った表がある。値段を入力すると、右の表のようにC列の「私の判定」欄に「高いか安いか」を自動的に表示したい。仮に70円を境に「高いか安いか」を判定してみよう。

	A	B	C
1	1個あたり	値段(円)	私の判定
2	にんじん	38	安い
3	たまねぎ	50	安い
4	じゃがいも	100	高い！
5	もやし	25	安い
6	きゃべつ	120	高い！

1 どうすればいい？

ようするに「70円より値が大きければ高い、それ以外なら安い」と表示できればいい訳だ。エクセルにはIF関数という、便利な関数がある。値によって2つの結果を出すことができるんじや！

IF関数の書式 **=IF(論理式, 真の場合, 偽の場合)**

この書式にあてはめてみよう。

論理式 → B列の値が70円より大きい → $B2 > 70$ (注1)

真の場合 → B列の値が70円より大きい場合 → 「高い！」

偽の場合 → B列の値が70円以下の場合 → 「安い」

(注1) $B2 > 70$ は、70を含まずそれ以上大きい場合という意味になる。よって、偽の場合は70を含みそれより小さい場合ということになる。

2 こうすればいい！

*日本語以外はすべて半角英数文字

あてはめた式は **=IF(B2>70, "高い!", "安い")**

*文字を表示したい場合は、半角の" "でくる

「にんじん」の値段 (=B2) を見てみると、38円 (=) なので「安い」と出るはずじゃ。そのままC6まで下にコピーしてみると、「じゃがいも・きゃべつ」は70円を超えているので「高い！」と出るはずじゃ。

こういう意味

=IF (B2が70より大きければ, "高い!", [そうでなければ] "安い")

どうじゃな。できたろう。IF関数で2つの結果を出したが、これを「条件分岐」という。